

## 鬼首地熱発電所設備更新計画に係る環境監視結果（2019年度）

「鬼首地熱発電所設備更新計画 環境影響評価書」に基づき実施した、2019年度の環境監視（発電所建設工事中）の結果は、以下の通りです。

- 大気環境（工事関係車両等の運行状況）  
工事関係車両台数の最大値は、2019年8月の74台/日で、計画最大値（177台/日）以下でした。
- 水環境（水質：浮遊物質）  
工事中排水口での水質は、全て自主排水基準値の日間平均25mg/L以下でした。
- 水環境（温泉：温度、湧出量、泉質）  
周辺温泉3地点の温度、湧出量、泉質に、大きな変化は生じませんでした。
- 植物（工事に伴い移植した重要な種の生育状況）  
工事に伴い移植した重要な種の内、アカモノ、サラサドウダン、ウラジロヨウラクについては、2019年7月に移植先で全ての種が生育していることを確認いたしました。ギンランについては、移植の年は地上部が確認されなかったため、対象株周辺の土壌ごと掘り取り移植を実施いたしました。ギンランの生育状況については、来年度確認することといたします。  
なお、移植については、専門家の助言を得て実施いたしました。
- 産業廃棄物  
建設工事に伴う産業廃棄物は、汚泥、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず等が1,799トン発生し、1,777トンを有効利用、22トンを処分いたしました。

以上